

【現状と課題】

- 家庭教育はすべての教育の出発点であり、子どもの基本的な生活習慣や自立心の育成、心身の調和のとれた発達を図るうえで重要な役割を担っています。
- 少子化、核家族化等の進行により、人間関係の希薄化や保護者の孤立化が進み、子育ての不安やしつけへの自信喪失など、家庭の教育力の低下が指摘されており、保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう家庭教育支援の重要性は一層高まっています。
- 学校・家庭・地域・関係機関等が、互いに連携を図りながら家庭の教育力の向上を図る必要があります。

【これからの施策の方向性】

- 学校・家庭・地域・関係機関等と連携し、家庭教育に関する啓発や発達段階に応じた学習機会・情報の提供、相談等の家庭教育支援の充実に努め、保護者と子どもがともに育つ家庭教育を推進し、家庭の教育力の向上を図ります。
- 幼児期からの家庭教育の重要性に鑑み、関係機関等と連携した事業を一層進めます。
- 家庭教育に関するニーズを適切に把握し、保護者の子育てに対する理解を深めるための学習機会の充実に努めるとともに、父親の子育て参加を促進します。

【主な取組】

- 幼稚園・認定こども園・保育所や市立病院、保健センター等と連携を図り、明日の母親と父親のための家庭教育講座、家庭教育セミナー等の事業を進めます。
- 学校、生涯学習プラザ、地域公民館等において、子どもの発達段階に応じた親子講座や家庭教育講座の充実、読み聞かせやおはなし会等の充実を図ります。
- 小・中学校においては家庭教育学級を、中学校では父親セミナーを開催し、子育ての在り方や保護者としての関わり方について学習する機会を提供します。

【計画期間における成果指標】

指標名	指標の概要、算式等	参考値	現況値（R2）	目標値（R8）
①子育てやしつけが安心してできる環境が「十分できている」「ある程度できている」と思う市民の割合	教育に関する市民意識調査	39.7% (H26)	70.4%	80.0%
②家庭教育学級の参加者数	—	24,500人 (R1)	6,069人	25,000人

①の指標を選んだ理由

子育てやしつけが安心してできる環境を整えることが、家庭教育の充実を図るためには重要なことであるため、事業の成果を表す指標として、子育てやしつけが安心してできる環境が「十分できている」「ある程度できている」と思う市民の割合を設定した。

②の指標を選んだ理由

小・中学校において開設されている家庭教育学級は、家庭における教育力の向上のために重要な取組の一つであるため、事業の成果を表す指標として、家庭教育学級の参加者数を設定した。

【地域別家庭教育研究会の様子】



【現状と課題】

- 人生100年時代、Society 5.0など、私たちの暮らしにとって大きな転換点を迎える中で、時代の変化に柔軟に対応し豊かな人生を送ることができるよう、これまでの教養に加え新たな知識を身に付けることなど、生涯学習の充実が求められています。
- 生涯学習関連施設において、多様化・高度化するニーズや現代的課題、ライフステージ等に対応した学習機会の提供が求められています。
- 生活環境の変化等により、子どもの読書離れが指摘されており、乳幼児期からの読書習慣の形成や発達段階に応じた読書活動を推進する必要があります。

【これからの施策の方向性】

- 市民一人ひとりが生涯にわたって生きがいを持ち、心豊かな生活を送れるよう、生涯学習関連施設において、多様化・高度化するニーズや現代的課題、ライフステージ等に対応した学習機会の充実を図ります。
- 時代の変化に積極的に対応し、人づくり・地域づくりにつながり、地域の教育力の向上に役立つよう、研修会や講座等の内容の工夫・改善に努めます。
- 第四次鹿児島市子ども読書活動推進計画に基づき、学校・家庭・地域等が相互に連携・協力しながら、子どもの発達段階に応じた読書活動を推進します。

【主な取組】

- 生涯学習プラザや地域公民館等では、多様化・複雑化するニーズを踏まえながら、趣味・教養や文化芸術、生活課題等に関する講座等を開催します。
特に、ICTに関する講座等では習熟度別やオンライン等による講座を開催するなど、時代の変化に応じた市民の主体的な学びを支援します。
- 小学校区においては、成人学級等を開設し、地域の特色に応じた魅力ある学習プログラムの開発をはじめ、地域の人材育成につながる学級の運営がなされるよう適切な支援を行い、地域の教育力の向上を図ります。
- 図書館や地域公民館、学校等においては、おはなし会やイベント等を開催するとともに、子どもの読書活動の意義や必要性について学習する機会や研修会、講座等の内容の充実を図ります。

【計画期間における成果指標】

指標名	指標の概要、算式等	参考値	現況値（R2）	目標値（R8）
①「生涯学習をしている」と回答した市民の割合	教育に関する市民意識調査	48.6% (H26)	43.1%	50.0%
②成人学級等の参加者数	—	33,106人 (R1)	13,421人	34,000人

①の指標を選んだ理由

市民一人ひとりが生涯にわたって生きがいを持ち、心豊かな生活を送れるよう、生涯学習の充実が求められていることから、事業の成果を表す指標として、「生涯学習をしている」と回答した市民の割合を設定した。

②の指標を選んだ理由

小学校区において開設されている成人学級等は、地域の教育力の向上のために重要な取組の一つであるため、事業の成果を表す指標として、成人学級等の参加者数を設定した。



【サンエールフェスタ 2021 での舞台発表】



【図書館おはなし会の様子】

【現状と課題】

- 人生100年時代を見据え、市民の多様な学習の機会を充実させ、市民がその学習活動を通して得た成果を社会に還元するなど、学んだ成果を生かす機会の充実を図ることが求められています。
- 地域ボランティアを活用した学校支援ボランティア事業やおやじの会等による市民のこれまでの学びの成果を生かした支援活動が、生きがいづくりや生涯学習の場として地域等で大きな役割を果たしており、地域の教育力の向上につながっています。

【これからの施策の方向性】

- 関係団体等との連携を図り、市民の多様化・高度化するニーズや現代的課題等に対応した学習機会の充実を図るとともに、地域社会において学習成果を幅広く活用できる体制づくりに取り組み、地域の教育力の向上を図ります。
- 学校支援ボランティアを活用し、生涯学習の成果を各学校において生かすことができる体制の確立に努めます。
- 保護者や地域住民の生涯学習の成果を各学校のおやじの会で生かすことができるよう、おやじの会活動支援事業の活性化に取り組みます。

【主な取組】

- 生涯学習プラザや地域公民館、図書館等において、市民のニーズに応じた学習機会を提供し、生涯にわたる学び直しや学習成果を幅広く生かせる機会を設け、読み聞かせなどの自主学習グループ活動やボランティア活動への支援を行います。
- 学校支援ボランティア事業においては、地域との連携・協働により、多様化・高度化するニーズに応じた専門的な地域ボランティアの確保に努め、事業内容の更なる充実を努めます。
- おやじの会活動支援事業においては、各おやじの会の活性化を図るため、研修会等を通して地域の実情に応じた特色ある活動の事例等について情報共有を図り、更なる活動の充実が図られるよう支援します。

【計画期間における成果指標】

指標名	指標の概要、算式等	参考値	現況値（R2）	目標値（R8）
①学習や活動をした成果を生かしている（生かせると思う）市民の割合	教育に関する市民意識調査	—	89.7%	93.0%
②学校支援ボランティアの活動者数	—	51,280人 (R1)	46,000人	54,000人

①の指標を選んだ理由

地域社会において学習成果を幅広く活用できる体制づくりに取り組む必要があるため、事業の成果を表す指標として、学習や活動をした成果を生かしている（生かせると思う）市民の割合を設定した。

②の指標を選んだ理由

学校支援ボランティアを活用し、生涯学習の成果を各学校に生かすことができる体制の確立に努める必要があるため、事業の成果を表す指標として、学校支援ボランティアの活動者数を設定した。

【学校支援ボランティアの活動の様子】



【現状と課題】

- 個人や地域社会の抱える課題が多様化・複雑化している中、課題を解決するために市民の主体的な学びを促すことが求められています。
- 学習を通じて市民が交流を図り、個人や各種団体によるつながりやネットワークの形成、世代間交流の場の拡充、地域でのリーダー養成が求められています。
- 生涯学習関連施設では、総合的に生涯学習を推進するため、関係各課や大学、専門学校、事業者、NPO等の多様な主体と連携・協働することが求められています。

【これからの施策の方向性】

- 学びを通じた人づくり・地域づくりを推進するため、地域社会に蓄積された多くの知恵を生かし、地域の活動で中核となり活躍する社会教育関係指導者やリーダーの育成に努め、人と人とのつながりを深めるネットワークの形成を進めます。
- Society 5.0の到来を見据え、オンラインによる講座など、ICTを活用した体制づくりを進めます。
- 専門的かつ実践的なノウハウを有する大学や事業者、NPO等と連携・協働し、現代的課題等に対応した学習機会の充実を図ります。

【主な取組】

- 生涯学習プラザを拠点とし、地域や社会教育関係団体等のリーダーとしての経験が浅い人や若い世代を対象としたリーダー研修会を開催し、地域で活躍できる人材の育成を図ります。また、意見交換や交流会等を通して、世代間の交流の場の拡充やネットワークづくりに努めます。
- 生涯学習プラザや地域公民館等では、ICTに関する講座等では習熟度別やオンラインによる講座を開催するなど、時代の変化に応じた市民の主体的な学びを支援します。
- 多様化・複雑化する現代的課題等の解決に向け、生涯学習プラザや地域公民館等において、大学や事業者、NPO等と連携・協働した講座（協働講座）の内容の充実を図ります。

【計画期間における成果指標】

指標名	指標の概要、算式等	参考値	現況値（R2）	目標値（R8）
①地域のリーダーを養成する講座受講者の満足度	R2：女性リーダー、シニアリーダー研修会等 R3～：学び広げる地域リーダー養成研修会	91.0% (R1)	93.0%	100%
②協働講座での連携団体数	—	15団体 (R1)	17団体	22団体

①の指標を選んだ理由

リーダー研修会等の充実により、地域で活躍できる人材の育成を図る必要があるため、事業の成果を表す指標として、地域のリーダーを養成する講座を受講し、アンケートで「非常に有意義であった」及び「有意義であった」を選択した回答数の割合を設定した。

②の指標を選んだ理由

生涯学習プラザや地域公民館等において、大学や事業者、NPO等と連携・協働した講座（協働講座）の内容の充実を図る必要があるため、事業の成果を表す指標として、協働講座での連携団体数を設定した。

【学び広げる地域リーダー養成研修会の様子】



【現状と課題】

- 生涯学習関連施設は、誰もが気軽に立ち寄り過ごせる空間で、幅広い世代の人々が集い共に学び成長できる場として、利用者・市民の要望や社会の要請に応え、地域の学びの拠点となるよう機能の充実を図る必要があります。
- 生涯学習関連施設の老朽化やバリアフリー化への対応、利用者のニーズに対する機能の拡充など、施設の適切な整備を計画的に進め、適正な施設管理を行うことが必要となります。
- 図書館の基本的なサービスのほか、市民交流の促進や学びと創造活動の拠点づくりが求められています。
- 図書館等に来館しなくても資料を利用できるよう、電子図書館サービス等が期待されています。

【これからの施策の方向性】

- 市民の学習や交流、地域づくりにつながる活動の場となるとともに、利用者がそれぞれの目的に応じて学習できるような環境づくりに努めます。
- 利用者の安全の確保と利便性向上を図るため、基本方針に基づき、地域公民館などを年次的に改修・整備し、誰もが利用しやすい適正な施設管理に努めます。
- 社会状況に応じた施設の整備や市民の多様なニーズに対応した資料の収集・整備を行い、生涯学習関連施設の機能の充実を図ります。
- ICTを活用して、市民サービスの向上を図ります。

【主な取組】

- 生涯学習プラザ、地域公民館、校区公民館（校区コミュニティセンター）等の施設や設備の改修を順次行います。
- 図書館ごとに、蔵書、企画、市民や関係部局とのコラボレーションを工夫することで、新しい利用者層を開拓します。
- 天文館図書館の開館や時代の変化に合わせ、図書館のホームページの更新や市立図書館基本的運営方針の改訂により、図書館機能を充実します。
- インターネットを活用した情報提供や電子図書館サービスなど、幅広い利用促進に努めます。
- 生涯学習プラザ、地域公民館、図書館等におけるWi-Fi環境整備や天文館図書館座席予約システムなどのICT活用により、市民サービスの向上を図ります。

【計画期間における成果指標】

指標名	指標の概要、算式等	参考値	現況値（R2）	目標値（R8）
①地域公民館や図書館などの生涯学習関連施設の利用者数	—	2,040,000人 (R1)	1,412,000人	2,120,000人
②「生涯を通じて興味・関心のあることを学ぶ環境が整っている」と感じる市民の割合	第六次鹿児島市総合計画に係る市民意識アンケート調査	39.3% (H28)	28.3%	41.0%

①の指標を選んだ理由

生涯学習関連施設は、幅広い世代の人々が集い共に学び成長できる場となることが求められているため、事業の成果を表す指標として、地域公民館や図書館などの生涯学習関連施設の利用者数を設定した。

②の指標を選んだ理由

利用者がそれぞれの目的に応じて学習できるような環境づくりに努める必要があるため、事業の成果を表す指標として、「生涯を通じて興味・関心のあることを学ぶ環境が整っている」と感じる市民の割合を設定した。

【センテラス天文館】



【天文館図書館閲覧コーナーのイメージ】

【現状と課題】

- 生涯学習情報システム（キュートピア・ネット）において、施設の予約状況や申込み等の情報を、市民がいつでも検索し、活用できるよう生涯学習関連施設の情報を掲載しています。
- 市民のひろばやホームページ、キュートピア・ネット等において、講座や研修会等の学習内容について情報発信を行っています。
- 生涯学習プラザ、地域公民館、図書館等の窓口において、学習相談への対応やレファレンスサービスに努めています。
- 図書館等に来館しなくても資料を利用できるよう、電子図書館サービス等が期待されています。
- 生涯学習関連施設は、市民の生涯学習推進の拠点施設として、市民が幅広く取り組んでいる学習情報を集約し、学習情報の提供や相談機能の充実を図る必要があります。

【これからの施策の方向性】

- 市民のひろばや公民館だより、ホームページ、SNS等を活用し、学習情報を提供します。
- 生涯学習に関する情報をデータベース化し、市民が必要とする学習情報の提供に努めるとともに、生涯学習プラザ、地域公民館、図書館等では、気軽に生涯学習に関する相談等ができるよう学習相談機能の充実を図ります。
- ICTを活用して、市民サービスの向上を図ります。

【主な取組】

- ホームページやSNS等を活用し、生涯学習関連施設の講座や研修会、イベント等についての詳細な情報を提供します。
- 生涯学習プラザや地域公民館等の講座などの情報収集や施設の予約など、市民がいつでもどこでも使いやすいようキュートピア・ネットの利便性の向上を図ります。
- 図書館等では、課題解決の支援を図るため、レファレンスサービスやレフェラルサービスの充実に努めます。
- インターネットを活用した情報提供や電子図書館サービスなど、幅広い利用促進に努めます。

【計画期間における成果指標】

指標名	指標の概要、算式等	参考値	現況値（R2）	目標値（R8）
① 図書館のレファレンス件数	質問に対して本や情報を提供した件数	3,487件 (R1)	1,638件	4,000件
② 生涯学習情報システム（キュートピア・ネット）のアクセス数	—	452,320件 (R1)	441,071件	486,000件

①の指標を選んだ理由

図書館では、課題解決の支援を図るため、レファレンスサービスなどの充実に努める必要があるため、事業の成果を表す指標として、図書館のレファレンス件数を設定した。

②の指標を選んだ理由

施設の予約状況や申込み等の情報を提供するキュートピア・ネットの利便性の向上を図る必要があるため、事業の成果を表す指標として、キュートピア・ネットのアクセス数を設定した。

【生涯学習プラザでのプログラミング体験講座の様子】

